

がみられる。1837は複合口縁壺で頸胴部境には斜格子文突帯が貼付されている。1838～1841は如意形口縁を有する弥生土器甕である。1839～1841は胴部上位に3～4条の沈線文が施されている。1842は屈曲の弱い頸胴部境から口縁部が伸びる弥生土器甕で、口縁部外面にタタキ痕が残る。弥生土器高杯1843の口縁部外面には凹線文が認められる。1844～1847は弥生土器鉢で、1844～1846は胴部から屈曲を介して外に短く口縁部が伸びる。1847は拡張する口縁端部上面にハケがおこな

トレンチ5

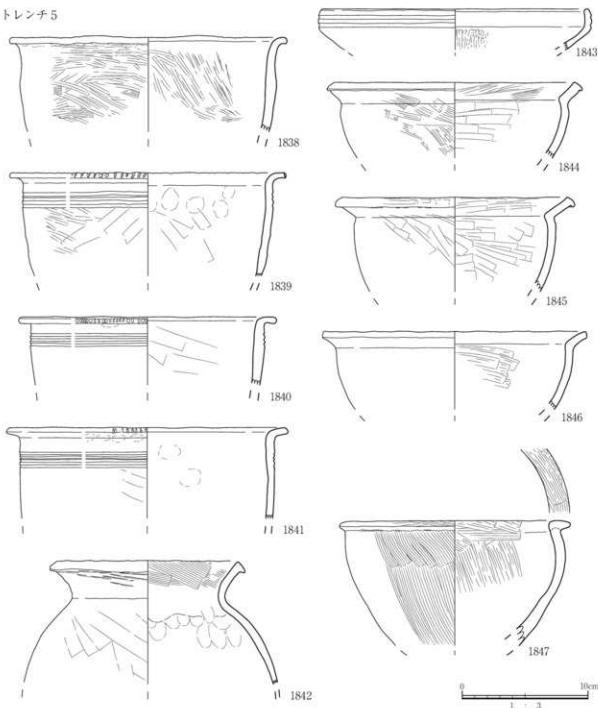


図481 SR27 出土遺物 5

層位不明

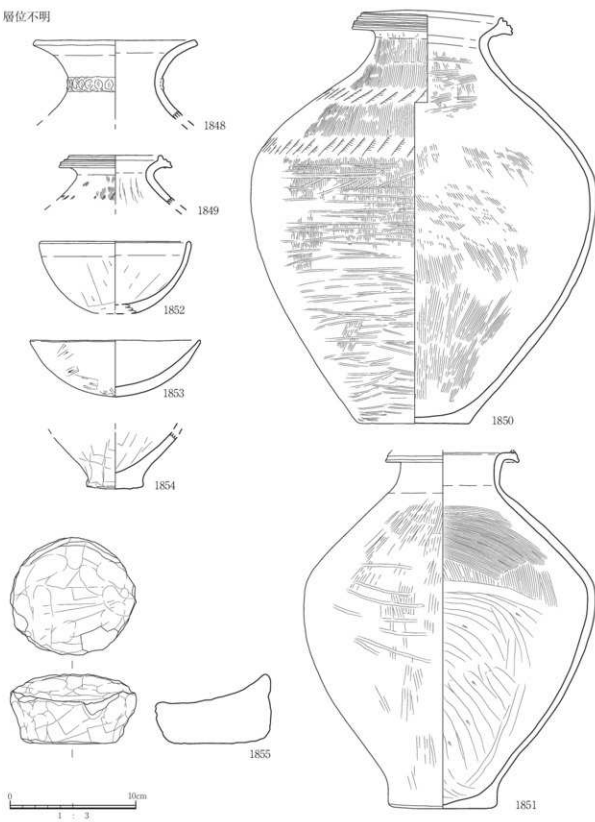


図482 SR27 出土遺物 6

われている。

1848～1855は出土層位不明の遺物である。1848は頸部に庄窠文突帯をもつ弥生土器壺、1849～1851は口縁部に明瞭な凹線文を伴う弥生土器の短頸広口壺である。1852～1854は弥生土器鉢、1855は弥生土器支脚である。

石器 1856はサヌカイト製スクレイパーである。A面上端部に自然面を残す。1857～1859はサヌカイト製石鏃で、1857・1859は凹基式、1858は平基式である。

(3)時期 前期後葉や中期後葉の遺物を含むが、1817・1821・1842・1844～1846から弥生時代後期前葉～中葉(V-1～V-3様式)と考えたい。この時期は、並行して流下し北東部で合流するSR25と同時期である。古墳時代前期(I-2期)とみられる1812などは古墳時代前期のSR11との合流地点付近出土の可能性がある。9世紀の1814などは最終埋没時期を示すのだろう。

20 SR17 (11区-SR4) 浅谷1-A 11区現道

(1)遺構(図484・487・488) 南西から北東へ伸びる流路である。全長が残存で1.93m、幅は0.94～1.34m、最大深度は0.38mである。限られた範囲のみの検出であるため全体形状は不明であるが、流路西岸付近を検出できたと考える。埋土は11～19層で、このうち12層は調査区南側の丘陵部由来の砂層と想定している。

(2)遺物 遺物は出土していない。

(3)時期 近隣で並行するSR28と近い時期とみれば、弥生時代後期後葉(V-4様式)と判断できる。

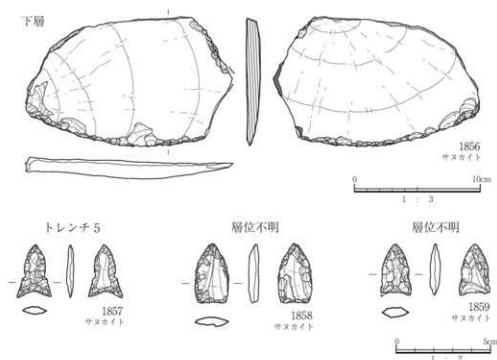
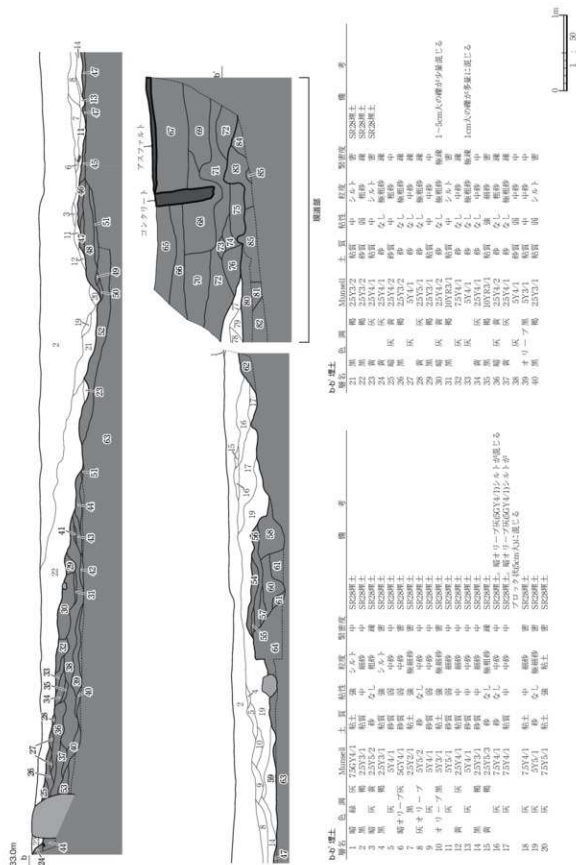


図483 SR27 出土遺物 7





層名	色	厚	岩	粘	粒	堅	要
41 黒	黒	2534/2	粘質	中	シルト	硬	
42 黄	黄	594.1	砂	なし	中砂	中	
43 黄	黄	2534/1	砂	なし	粗砂	硬	
44 黒	黒	2534/1	砂	なし	粗砂	硬	
45 黒	黒	5234/1	砂質	中	中砂	中	1cm大の礫が多数に混じる
46 黄	黄	2534/1	砂質	中	中砂	中	
47 黄	黄	5332	砂質	弱	粗砂	硬	
48 黄	黄	535.1	砂	なし	粗砂	硬	
49 黒	黒	2535/2	砂	なし	粗砂	硬	
50 黒	黒	2536/1	砂	なし	粗砂	硬	
51 黒	黒	2536/1	砂	なし	粗砂	硬	
52 黒	黒	535.1	砂	なし	粗砂	硬	
53 黒	黒	2534/2	粘土	強	粗砂	硬	
54 黒	黒	2534/2	粘土	強	粗砂	硬	
55 黄	黄	2534/2	粘土	強	粗砂	硬	
56 黄	黄	534.2	砂	なし	粗砂	硬	
57 黄	黄	534.2	砂	なし	粗砂	硬	
58 黄	黄	534.2	砂	なし	粗砂	硬	
59 黄	黄	534.1	砂	なし	粗砂	硬	
60 黄	黄	534.1	砂	なし	粗砂	硬	
61 黄	黄	534.1	砂	なし	粗砂	硬	
62 黄	黄	2534/1	粘土	強	シルト	硬	
63 黄	黄	2534/1	砂	なし	粗砂	硬	
64 黒	黒	2534/2	砂	なし	粗砂	硬	

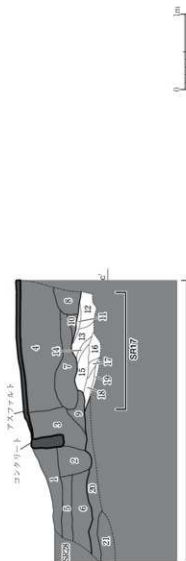
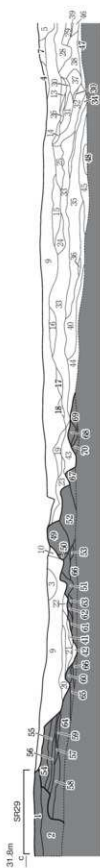
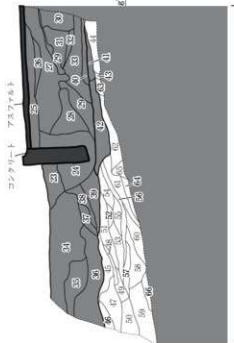


図487 SR17・SR28 断面 3

[illegible][illegible]

图488 SR17·SR28 断面 4

[illegible]

21 SR28 (5区-谷南側+10区-谷2+11区-谷3) 浅谷1-A

(1)遺構(図484～494) 南から向きを変えながら北西へ伸びる流路で、長軸方向はN-58°-Eである。規模は全長が残存で247m、幅は7.08～19.5m、最大深度は1.33mである。埋土は周辺の流路と異なり灰色～黒色砂質土が主体となる。SR29に後出し、南側調査区(10・11区)の中で最も新しい時期の流路で、丘陵部裾を沿うように流下している。

(2)遺物(図495) 縄文土器片、弥生土器片、弥生時代終末期～古墳時代前期の土器片、土師器片、須恵器片、黒色土器片など360点が出土した。このうち3点を図化した。

土器 1860・1861は弥生土器甕、1862は高台を有する須恵器壺である。

(3)時期 弥生時代終末期～古墳時代前期のSR29に後出することから古墳時代前期(I-1期)以降としておく。

22 SR29 (10区-谷1) 浅谷1-A

(1)遺構(図496～509) 南西から北東へ伸びる流路で、長軸方向はN-46°-Eである。全長が残存

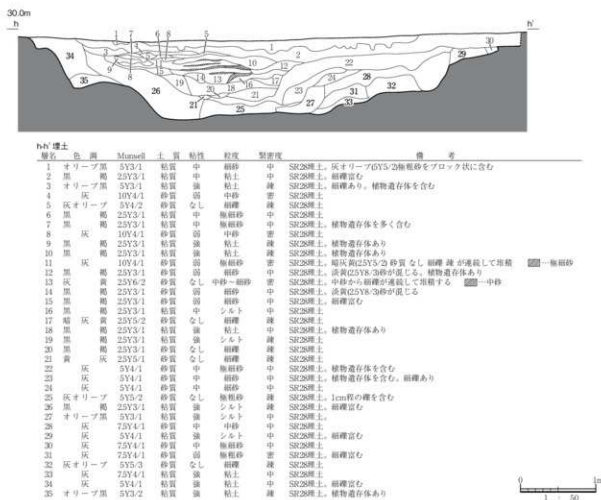
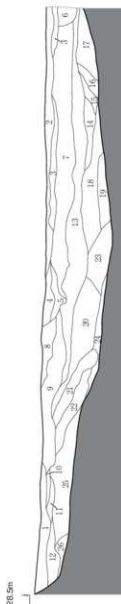
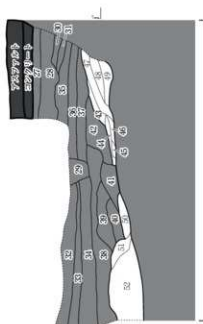


図492 SR28 断面 8



層名	層色	層厚	土質	粘性	粒度	観察	備考
1 暗褐色	褐色	2534.2	細砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	底層
2 暗褐色	褐色	2534.1	細砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
3 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じりシルト	弱	中	SE28H土	
4 オリーブ色	褐色	2534.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
5 オリーブ色	褐色	2534.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	植物遺存体あり
6 にくい質	褐色	2536.3	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
7 にくい質	褐色	2536.3	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
8 オリーブ色	褐色	2536.3	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	下部に粗砂を多く含む
9 オリーブ色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
10 暗褐色	褐色	2534.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
11 暗褐色	褐色	2536.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
12 オリーブ色	褐色	2532.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
13 オリーブ色	褐色	2532.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	植物遺存体あり
14 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
15 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
16 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
17 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
18 オリーブ色	褐色	2533.1	シルト	弱	中	SE28H土	底層
19 暗褐色	褐色	2536.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
20 暗褐色	褐色	2536.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
21 暗褐色	褐色	2536.2	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
22 オリーブ色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
23 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
24 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
25 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
26 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
27 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
28 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
29 オリーブ色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
30 オリーブ色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
31 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	
32 暗褐色	褐色	2534.1	粗砂混じり粗砂	弱	中	SE28H土	

図494 SR28 断面 10

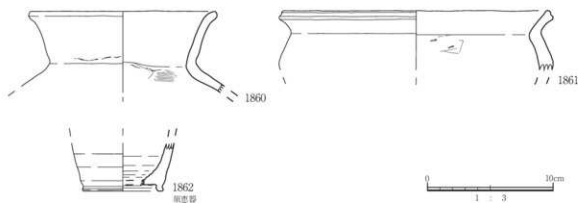


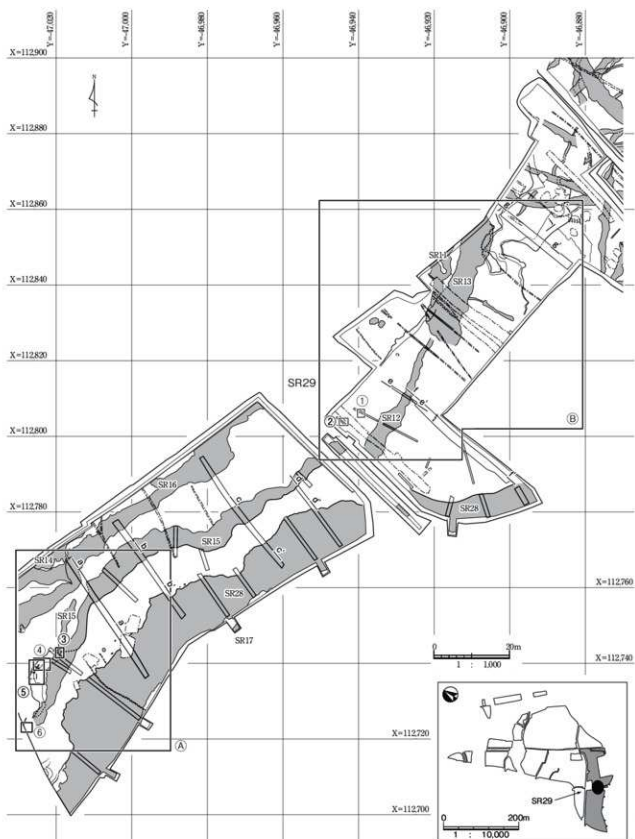
図495 SR28 出土遺物

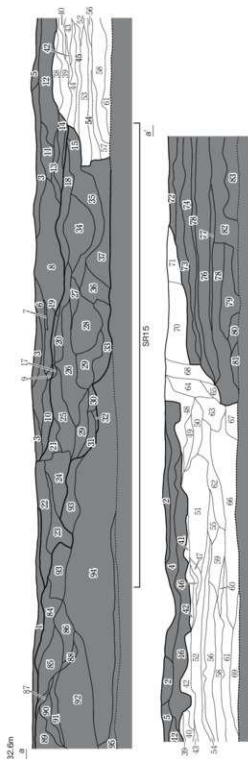
で212.4m、幅は3.7～48.6m、最大深度は1.5mである。埋土は砂質土が主体で粘質土との互層堆積となる。周辺の流路に比べて腐植土層を多く含んでおり、主に北側の層中からは葉や昆虫遺体も出土している。また流路範囲内にはアカガシ亜属などの複数の木株が検出されており(図507³⁾、流路がほぼ埋没した後に木立が形成されたと考えられる。北側については浅谷1-A内を流下すると想定されるが、詳細は不明である。流路中程(10区南側)では容器の一部や建築部材(137-138)が出土している。SX31、SD282・283・288・289・291・294、SR11・12・13・15・28に先行する。

(2)遺物(図510～522) 縄文土器片、弥生土器片、弥生時代終末期～古墳時代前期の土器片、土師器片、須恵器片、土師質土器片、土製品、石器など1,844点と木質遺物が出土した。このうち木質遺物を除く157点を図化した。

土器 1863～1909はN2として取り上げた遺物である。1863～1887は弥生土器壺で、1863・1864は拡張する口縁端部に凹線文を有する広口壺である。1863の口縁端部には矢羽根状に刻目文が施されている。1864・1865は頸胴部境に斜格子文突帯が巡る。1866は短い頸部と短い口縁部をもつ。1867～1874の胴部は細身で、口縁部を欠損する1871を除いて口縁部はほぼ拡張しない。1875は複合口縁壺で口縁部が直立する。1876～1878は長頸壺で、1877の口縁端部は若干上方に突出する。1879～1886は複合口縁壺で、いずれも口縁部外面に文様はみられない。1887は扁球状に張り出す胴部で、頸部は直立すると推測される。1888は細身の胴部の弥生土器甕で、口縁部は緩い屈曲から外に向かって直線的に伸びる。1889・1890は弥生土器高杯である。1890の脚部には3段の円形透孔が巡る。1891～1903は弥生土器鉢である。1902・1903は浅い胴部に低い脚部が付く。1904・1905は弥生土器蓋である。1906・1907は弥生土器器台で、1907の胴部には3段の円形透孔が穿たれている。1908は分銅形土製品で上部の周縁部に円形の文様が描かれている。1909は弥生土器支脚である。

1910～1917はN4として取り上げた遺物である。1910は複合口縁壺で頸胴部境には斜格子文突帯が貼付されている。1912は細身の胴部から短い口縁部が直線的に伸びる。甕に分類される可能性もある。1914は無文の複合口縁壺である。1916は弥生土器鉢で脚部には円形透孔が認められる。1917は弥生土器鉢である。





ae 地土 SR29		ae 地土 SR15		ae 地土 SR29		ae 地土 SR15	
層番号	層名	色	質地	層番号	層名	色	質地
39	灰	灰	粘土	18	灰	灰	粘土
40	灰	灰	粘土	19	灰	灰	粘土
41	灰	灰	粘土	20	灰	灰	粘土
42	灰	灰	粘土	21	灰	灰	粘土
43	灰	灰	粘土	22	灰	灰	粘土
44	灰	灰	粘土	23	灰	灰	粘土
45	灰	灰	粘土	24	灰	灰	粘土
46	灰	灰	粘土	25	灰	灰	粘土
47	灰	灰	粘土	26	灰	灰	粘土
48	灰	灰	粘土	27	灰	灰	粘土
49	灰	灰	粘土	28	灰	灰	粘土
50	灰	灰	粘土	29	灰	灰	粘土
51	灰	灰	粘土	30	灰	灰	粘土
52	灰	灰	粘土	31	灰	灰	粘土
53	灰	灰	粘土	32	灰	灰	粘土
54	灰	灰	粘土	33	灰	灰	粘土
55	灰	灰	粘土	34	灰	灰	粘土
56	灰	灰	粘土	35	灰	灰	粘土
57	灰	灰	粘土	36	灰	灰	粘土
58	灰	灰	粘土	37	灰	灰	粘土
59	灰	灰	粘土				
60	灰	灰	粘土				
61	灰	灰	粘土				
62	灰	灰	粘土				
63	灰	灰	粘土				
64	灰	灰	粘土				
65	灰	灰	粘土				
66	灰	灰	粘土				
67	灰	灰	粘土				
68	灰	灰	粘土				
69	灰	灰	粘土				
70	灰	灰	粘土				
71	灰	灰	粘土				

植物遺存体を含む
灰EG577/10砂質 泥 シルト 中が砂状に混じる
灰EG577/10シルトが砂状に混じる
56・58層ともにつつまのまじりとして分層が可能であった前の層とした
植物遺存体あり
2-3mの層が混じる
細砂あり
62層の下には黒色土が混入している
細砂混む
灰EG577/10シルトが砂状に混じる
細砂混む

図497 SR29 断面 1



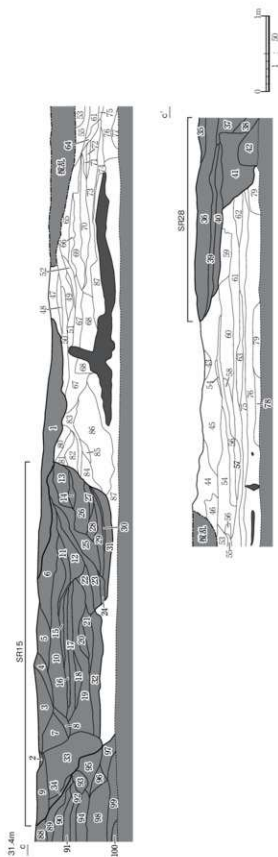
[illegible]

图498 SR29 断面 2

c-c 橋土 SR28									
断面	色	土質	堅硬度	橋	牙	断面	色	土質	堅硬度
35	黒	砂	中	粗砂	粗砂	1	黒	粘土	硬
36	灰	砂	中	粗砂	粗砂	2	黒	粘土	硬
37	灰	砂	中	粗砂	粗砂	3	黒	粘土	硬
38	灰	砂	中	粗砂	粗砂	4	黒	粘土	硬
39	灰	砂	中	粗砂	粗砂	5	黒	粘土	硬
40	灰	砂	中	粗砂	粗砂	6	黒	粘土	硬
41	灰	砂	中	粗砂	粗砂	7	黒	粘土	硬
42	灰	砂	中	粗砂	粗砂	8	黒	粘土	硬
43	灰	砂	中	粗砂	粗砂	9	黒	粘土	硬
44	灰	砂	中	粗砂	粗砂	10	黒	粘土	硬
45	灰	砂	中	粗砂	粗砂	11	黒	粘土	硬
46	灰	砂	中	粗砂	粗砂	12	黒	粘土	硬
47	灰	砂	中	粗砂	粗砂	13	黒	粘土	硬
48	灰	砂	中	粗砂	粗砂	14	黒	粘土	硬
49	灰	砂	中	粗砂	粗砂	15	黒	粘土	硬
50	灰	砂	中	粗砂	粗砂	16	黒	粘土	硬
51	灰	砂	中	粗砂	粗砂	17	黒	粘土	硬
52	灰	砂	中	粗砂	粗砂	18	黒	粘土	硬
53	灰	砂	中	粗砂	粗砂	19	黒	粘土	硬
54	灰	砂	中	粗砂	粗砂	20	黒	粘土	硬
55	灰	砂	中	粗砂	粗砂	21	黒	粘土	硬
56	灰	砂	中	粗砂	粗砂	22	黒	粘土	硬
57	灰	砂	中	粗砂	粗砂	23	黒	粘土	硬
58	灰	砂	中	粗砂	粗砂	24	黒	粘土	硬
59	灰	砂	中	粗砂	粗砂	25	黒	粘土	硬
60	灰	砂	中	粗砂	粗砂	26	黒	粘土	硬
61	灰	砂	中	粗砂	粗砂	27	黒	粘土	硬
62	灰	砂	中	粗砂	粗砂	28	黒	粘土	硬
63	灰	砂	中	粗砂	粗砂	29	黒	粘土	硬
64	灰	砂	中	粗砂	粗砂	30	黒	粘土	硬
65	灰	砂	中	粗砂	粗砂	31	黒	粘土	硬
66	灰	砂	中	粗砂	粗砂	32	黒	粘土	硬
67	灰	砂	中	粗砂	粗砂	33	黒	粘土	硬
68	灰	砂	中	粗砂	粗砂	34	黒	粘土	硬
69	灰	砂	中	粗砂	粗砂	35	黒	粘土	硬
70	灰	砂	中	粗砂	粗砂	36	黒	粘土	硬
71	灰	砂	中	粗砂	粗砂	37	黒	粘土	硬
72	灰	砂	中	粗砂	粗砂	38	黒	粘土	硬
73	灰	砂	中	粗砂	粗砂	39	黒	粘土	硬
74	灰	砂	中	粗砂	粗砂	40	黒	粘土	硬
75	灰	砂	中	粗砂	粗砂	41	黒	粘土	硬
76	灰	砂	中	粗砂	粗砂	42	黒	粘土	硬
77	灰	砂	中	粗砂	粗砂	43	黒	粘土	硬
78	灰	砂	中	粗砂	粗砂	44	黒	粘土	硬
79	灰	砂	中	粗砂	粗砂	45	黒	粘土	硬
80	灰	砂	中	粗砂	粗砂	46	黒	粘土	硬
81	灰	砂	中	粗砂	粗砂	47	黒	粘土	硬
82	灰	砂	中	粗砂	粗砂	48	黒	粘土	硬
83	灰	砂	中	粗砂	粗砂	49	黒	粘土	硬
84	灰	砂	中	粗砂	粗砂	50	黒	粘土	硬
85	灰	砂	中	粗砂	粗砂	51	黒	粘土	硬
86	灰	砂	中	粗砂	粗砂	52	黒	粘土	硬
87	灰	砂	中	粗砂	粗砂	53	黒	粘土	硬
88	灰	砂	中	粗砂	粗砂	54	黒	粘土	硬
89	灰	砂	中	粗砂	粗砂	55	黒	粘土	硬
90	灰	砂	中	粗砂	粗砂	56	黒	粘土	硬
91	灰	砂	中	粗砂	粗砂	57	黒	粘土	硬
92	灰	砂	中	粗砂	粗砂	58	黒	粘土	硬
93	灰	砂	中	粗砂	粗砂	59	黒	粘土	硬
94	灰	砂	中	粗砂	粗砂	60	黒	粘土	硬
95	灰	砂	中	粗砂	粗砂	61	黒	粘土	硬
96	灰	砂	中	粗砂	粗砂	62	黒	粘土	硬
97	灰	砂	中	粗砂	粗砂	63	黒	粘土	硬
98	灰	砂	中	粗砂	粗砂	64	黒	粘土	硬
99	灰	砂	中	粗砂	粗砂	65	黒	粘土	硬
100	灰	砂	中	粗砂	粗砂	66	黒	粘土	硬

図499 SR29 断面 3

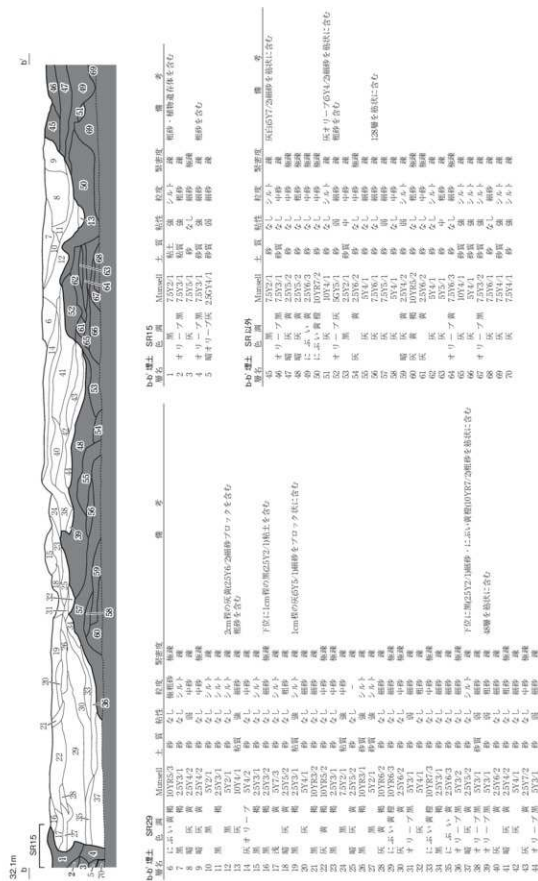


图500 SR29 断面 4

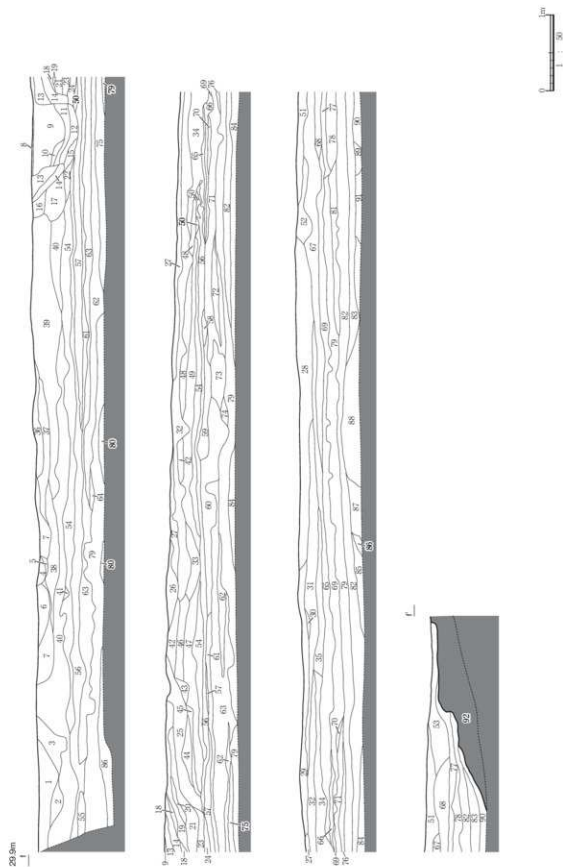


図502 SR29断面 6

[illegible]

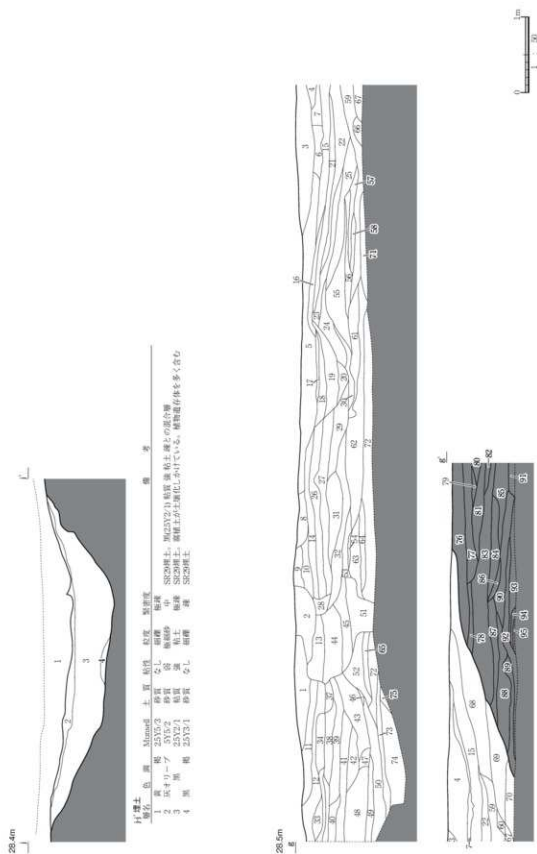


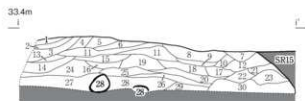
图 505 SR29 断面 9

[illegible]



h-N 埋土

層名	色	調	Munsell	土質	粘性	粒度	堅密度	備	考
1	黄	灰	2.5Y4/1	砂質	弱	細砂	中		
2		灰	5Y4/1	砂質	弱	シルト	密		
3		灰	5Y4/1	粘質	中	シルト	密		
4		灰	5Y4/1	砂質	中	細砂	密		
5	暗	灰	2.5Y4/2	砂	なし	粗砂	疎		
6	暗	オリーブ	5GY4/1	砂	なし	細砂	疎		
7	灰	黄	10YR5/2	砂	なし	粗砂	疎		
8	暗	灰	2.5Y5/2	砂	なし	粗砂	粗疎		
9	にふい	黄	10YR7/2	砂	なし	粗砂	粗疎		
10		灰	5Y4/1	砂	なし	粗砂	疎		
11	黄	暗	2.5Y5/3	砂	なし	中砂	粗疎		

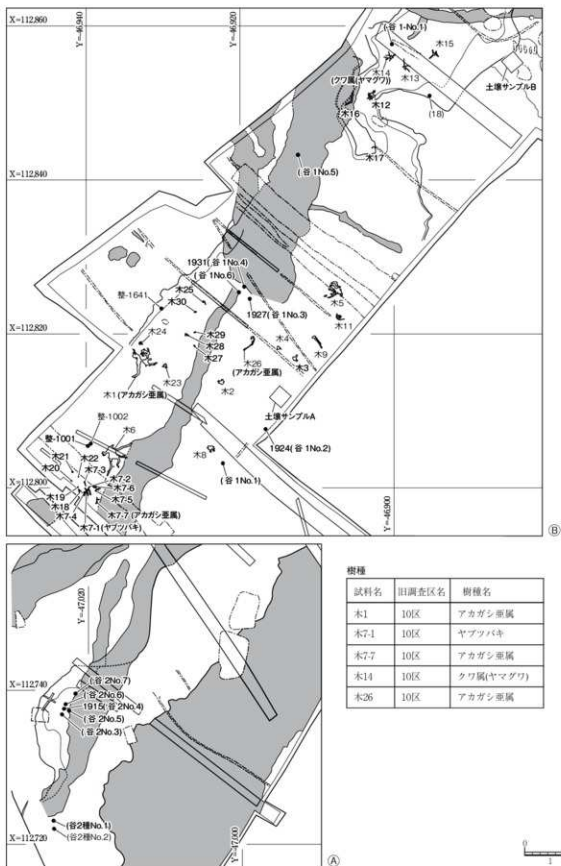


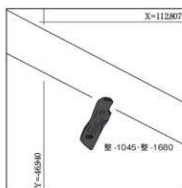
i-f 埋土

層名	色	調	Munsell	土質	粘性	粒度	堅密度	備	考
1		灰	5Y4/1	砂質	弱	中砂	疎	b-h3層相当	
2	にふい	黄	10YR6/3	砂	なし	細砂	疎		
3	オリーブ	灰	10Y3/1	砂質	中	細砂	中	b-h6層相当	
4		灰	5Y4/1	砂質	弱	中砂	疎		
5	黄	暗	2.5Y5/3	砂	なし	細砂	疎		
6	暗	灰	2.5Y5/2	砂	なし	中砂	疎		
7	黒	暗	2.5Y3/1	砂質	弱	中砂	疎		
8	黒	暗	2.5Y3/1	砂質	なし	中砂	粗疎		
9	灰	黄	10YR5/2	砂	なし	粗砂	粗疎		
10	暗		10YR4/6	砂	なし	中砂	粗疎		
11	灰	オリーブ	5Y6/2	砂	なし	細砂	疎		
12	黄	暗	2.5Y5/3	砂	なし	中砂	粗疎		
13	オリーブ	暗	5Y3/1	砂質	弱	細砂	疎		
14	灰	オリーブ	5Y5/2	砂質	弱	中砂	疎		
15	にふい	黄	10YR7/3	砂	なし	粗砂	疎		
16	暗	暗	10YR3/4	砂	なし	粗砂	疎		
17	黒	暗	10YR3/2	砂	なし	粗砂	粗疎		
18	にふい	黄	10YR6/3	砂	なし	中砂	粗疎		
19	にふい	黄	10YR7/2	砂	なし	中砂	粗疎	下段ににふい黄(10YR6/4)粗砂を含む	
20		灰	7.5Y5/1	砂	なし	細砂	疎	上段に明黄(10YR7/6)粗砂を含む	
21	暗	灰	2.5Y5/2	砂質	弱	中砂	疎		
22	暗	灰	5Y5/1	砂質	中	中砂	中		
23	オリーブ	暗	5Y3/1	粘質	強	シルト	疎		
24	にふい	黄	10YR7/3	砂	なし	粗砂	疎	b-h7層相当	
25	暗	灰	2.5Y5/2	砂	なし	粗砂	疎		
26	にふい	黄	10YR7/3	砂	なし	中砂	粗疎		
27	にふい	黄	10YR6/3	砂	なし	粗砂	粗疎	b-h9層相当	
28	灰	黄	10YR6/2	砂	なし	中砂	粗疎	下段に灰(7.5Y6/1)砂を含む	
29		灰	5Y5/1	砂	なし	細砂	疎		
30		灰	5Y4/1	粘質	強	中砂	中		

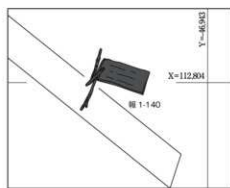


図506 SR29 断面 10

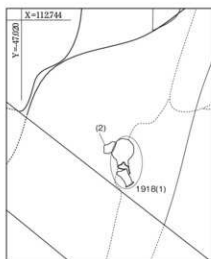




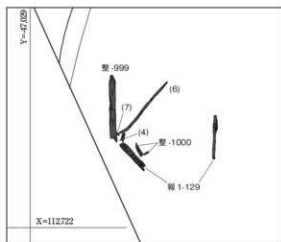
① (谷 1-3 木 No.2)



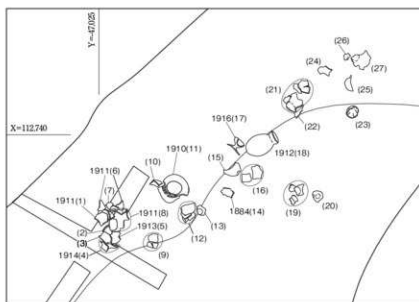
② (谷 1-3 木 No.1)



③ (N5)



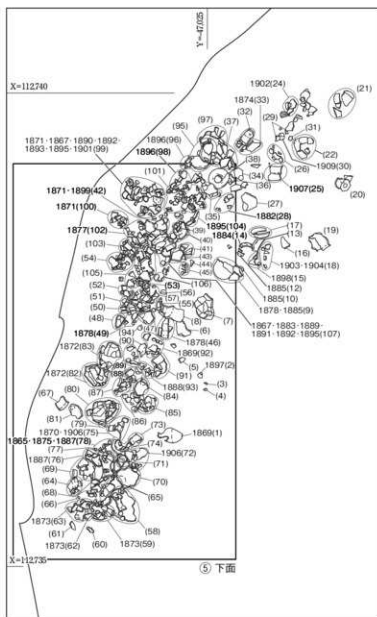
⑥ (谷 2-E1)



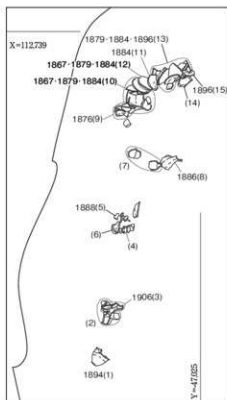
④ (N4)



図508 SR29 遺物出土状況 2



⑤ (谷2(3面目)N2上面)



⑤ 下面 (N3(N2下層南側))



図509 SR29 遺物出土状況 3

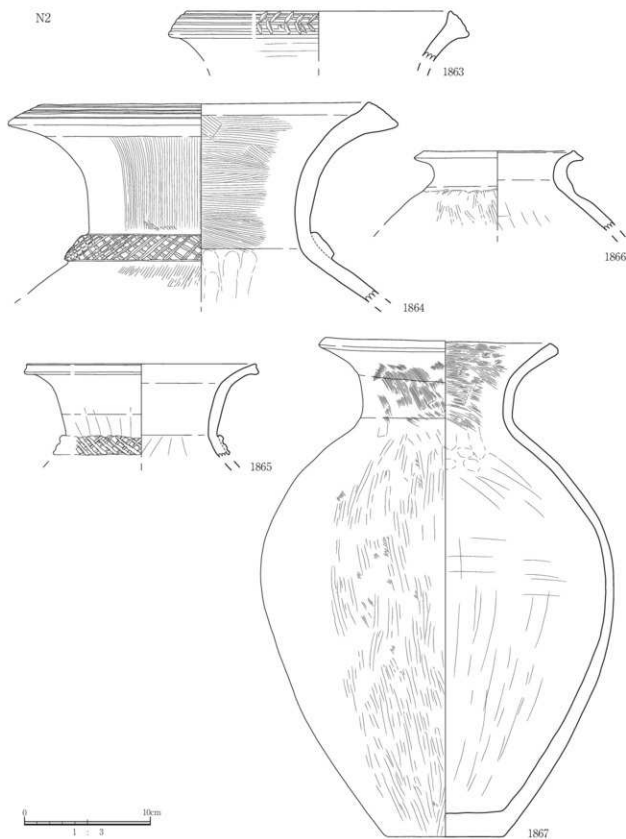
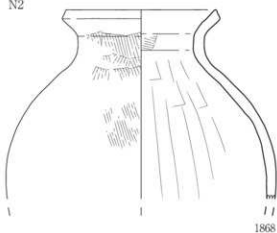
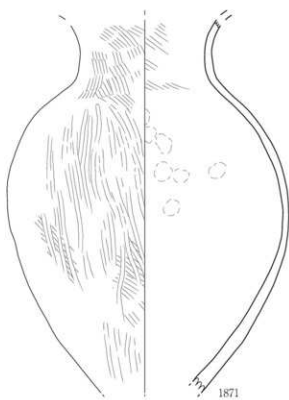


図510 SR29 出土遺物 1

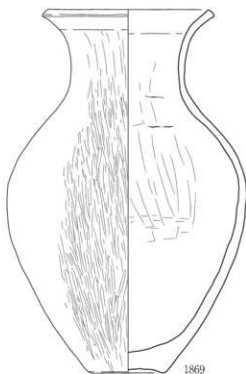
N2



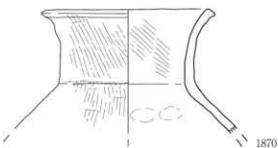
1868



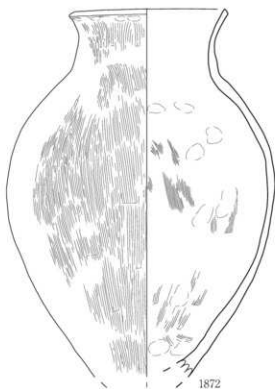
1871



1869



1870

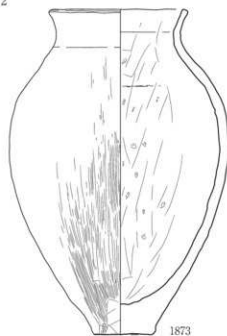


1872



圖511 SR29 出土遺物 2

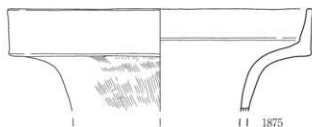
N2



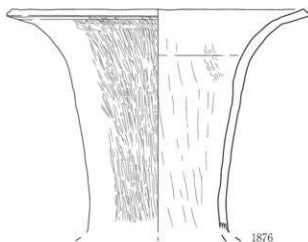
1873



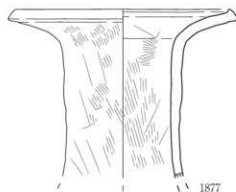
1874



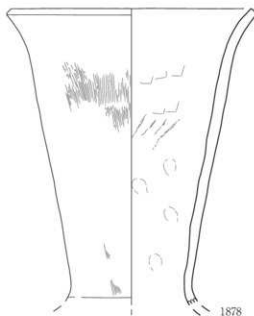
1875



1876



1877



1878



図512 SR29 出土遺物 3

N2

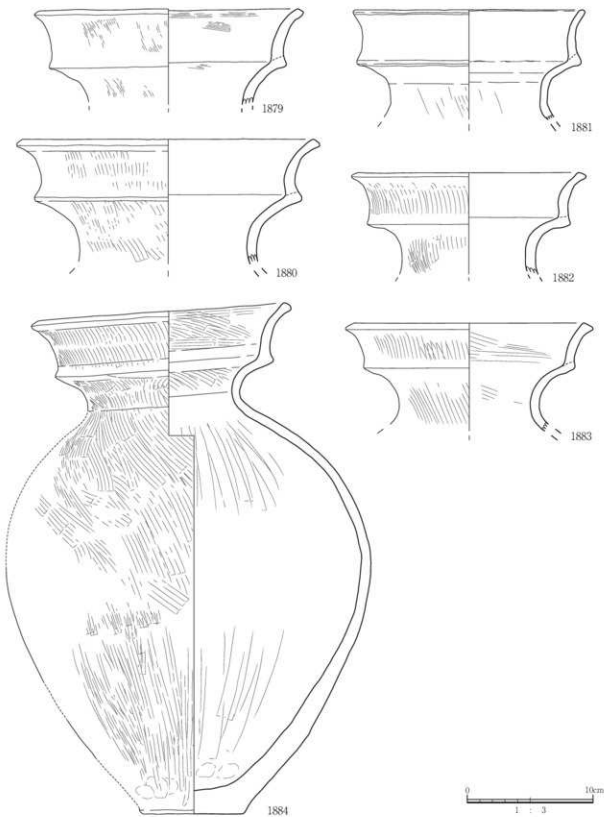


圖513 SR29 出土遺物 4

N2

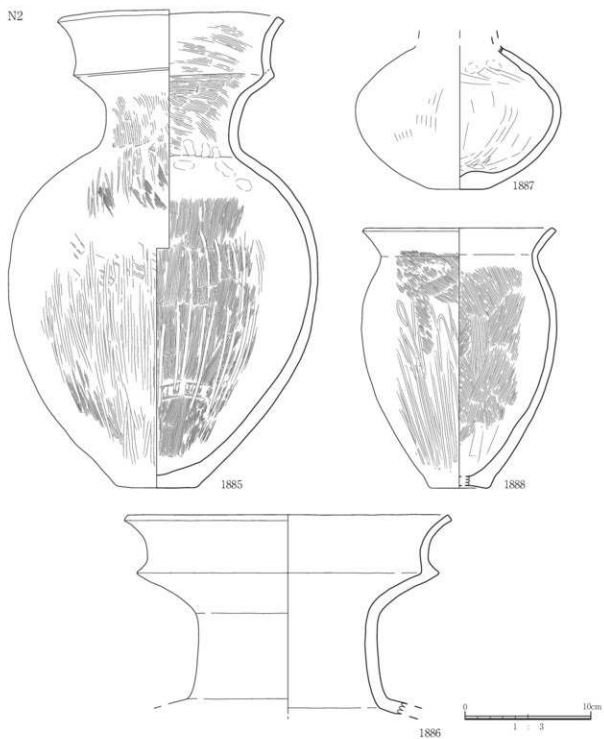


図514 SR29 出土遺物 5

N2

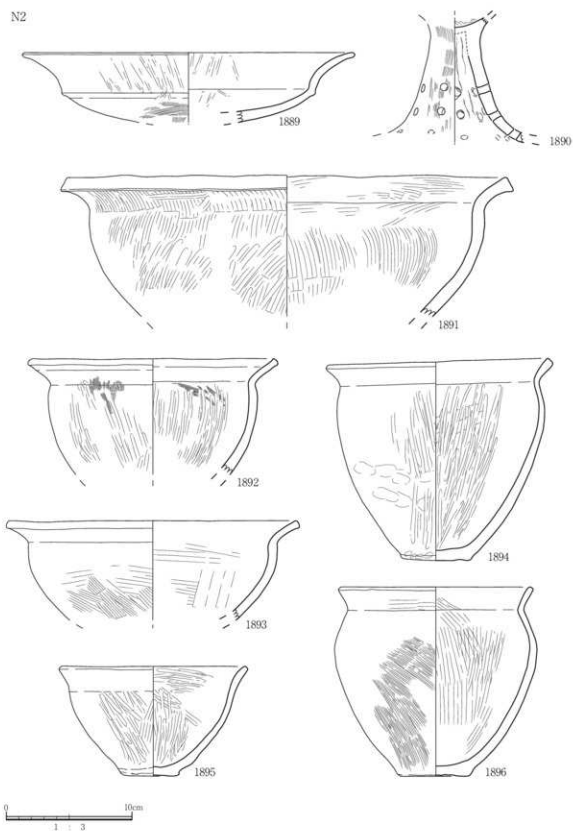


図515 SR29 出土遺物 6

N2

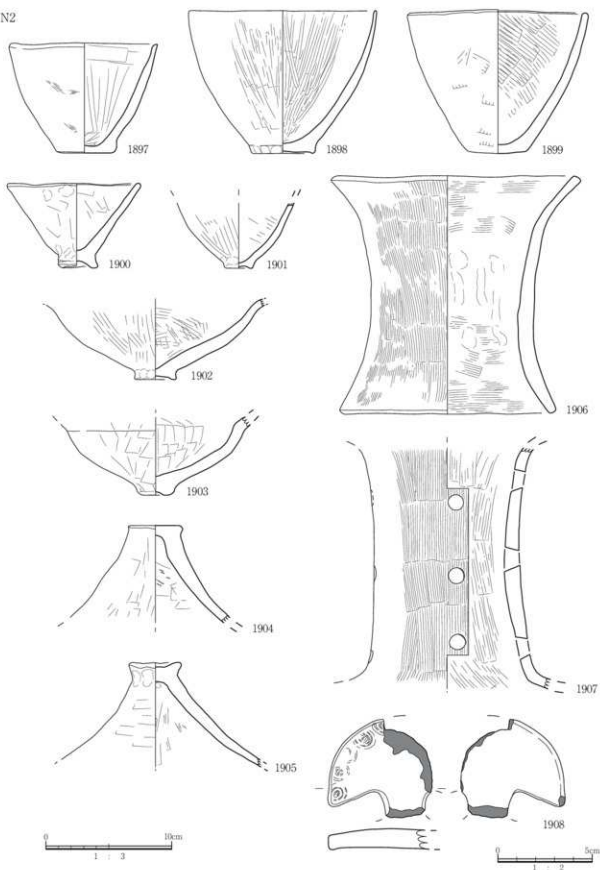


図516 SR29 出土遺物 7

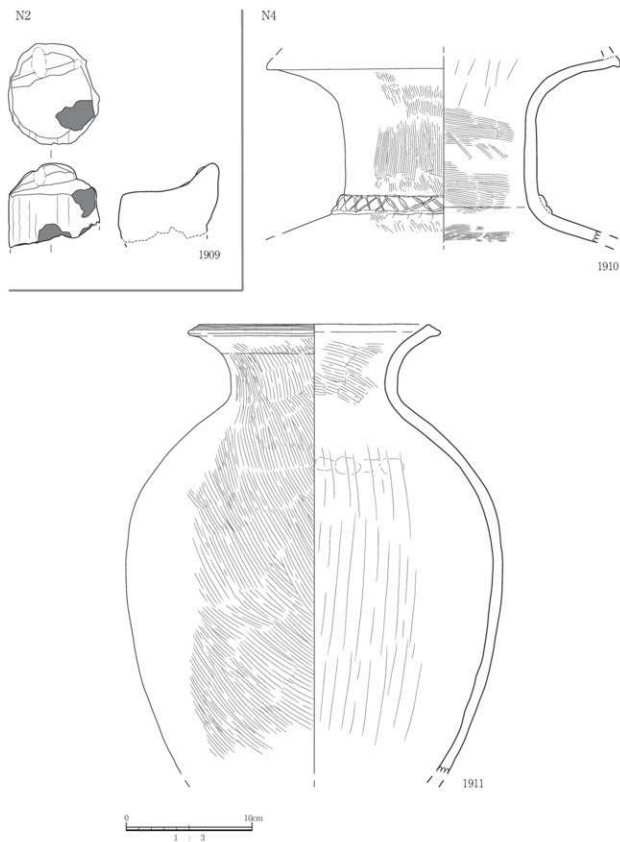
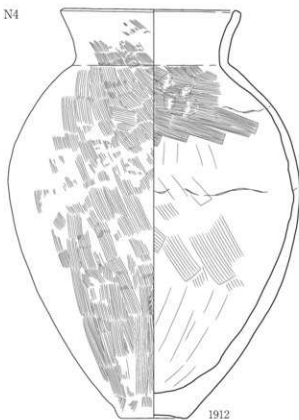


圖517 SR29 出土遺物 8

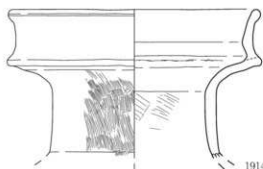
N4



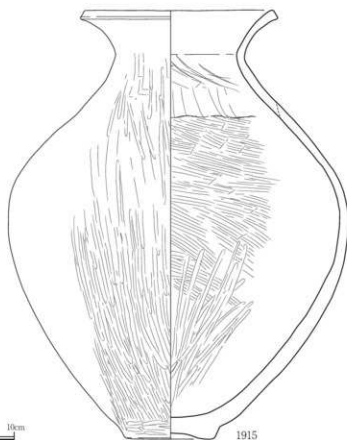
1912



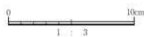
1913



1914



1915



1 : 3

図518 SR29 出土遺物 9

1918はN5として取り上げられた弥生土器壺で、口縁部は頸部から屈曲して外に長く伸びる。1919～1952はN2、N4、N5以外で取り上げた遺物である。1919～1933は弥生土器壺で、1919・1920は口縁端部の凹線文が明瞭な短頸広口壺である。1921・1922・1924の口縁端部には凹線文が認められるものの、頸部はやや長い。1925の口縁端部外面には円形浮文、内面には刺突文がみられる。1929はやや内傾する頸部から短い口縁部が外に伸びる。胴部上半には2段の連続する刻目文がある。胴部1930は算盤玉状で最大径より上位には凹線文が施されている。1932は頸部で、矢羽根状の刻目文が認められる。1933にも矢羽根状の文様が描かれている。1934～1943は弥生土器甕である。1934～1939はヨコナデによる口頸部境の強い屈曲を伴う。1941・1942の口縁端部は凹線文を有するが、口頸部境の屈曲は弱い。1944～1947は弥生土器高杯である。脚部1944・1945には矢羽根形透孔が穿たれているが、1944と1945の上段の透孔は貫通しない。1948・1949は弥生土器鉢である。1950は弥生土器器台で、胴部に2段の円形透孔が認められる。1951は器種不明の土製品で碗状を呈する。1952は須恵器杯蓋である。口縁部外面に歯状工具による圧痕がある。

(3)時期 1885・1886・1907・1916・1943から弥生時代終末期～古墳時代前期(VI-1様式～I-1期)と考えられる。

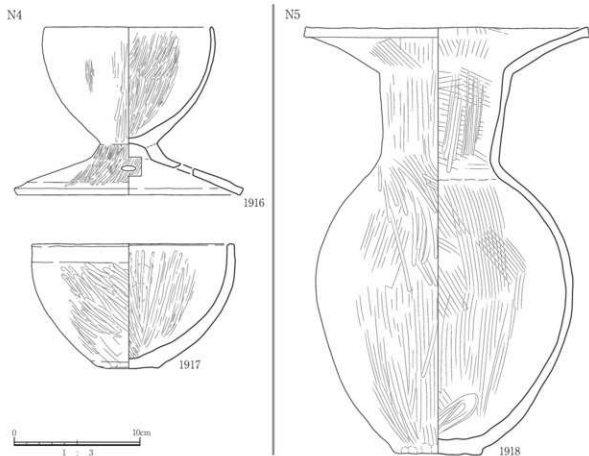


図519 SR29 出土遺物 10

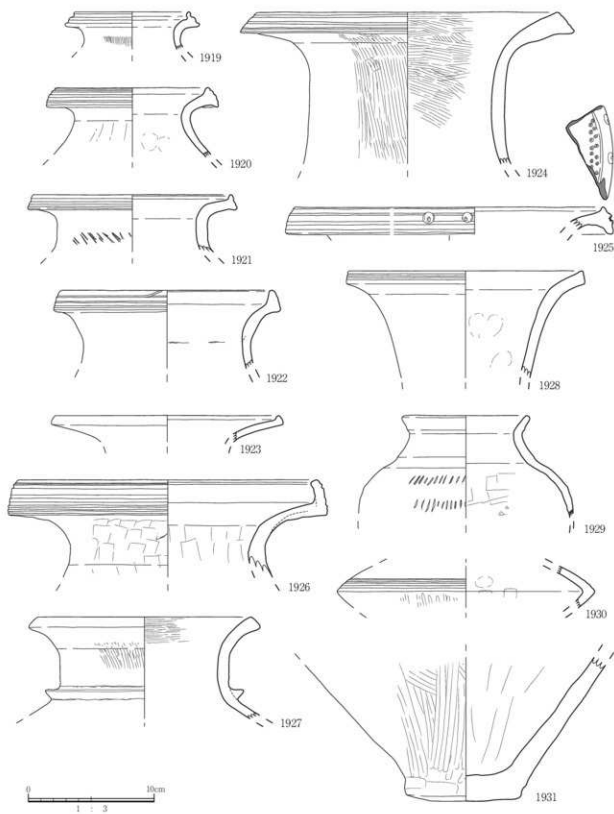


図520 SR29 出土遺物 11

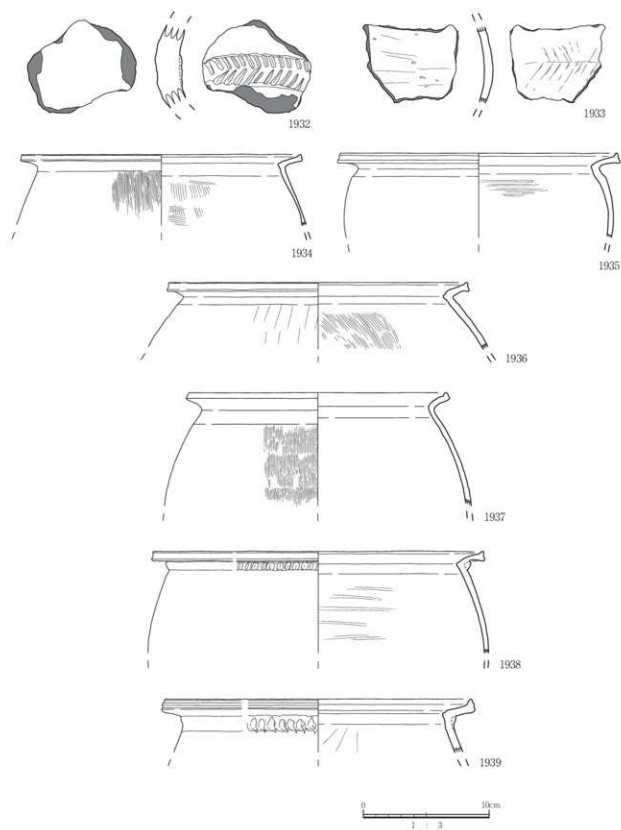


図521 SR29 出土遺物 12

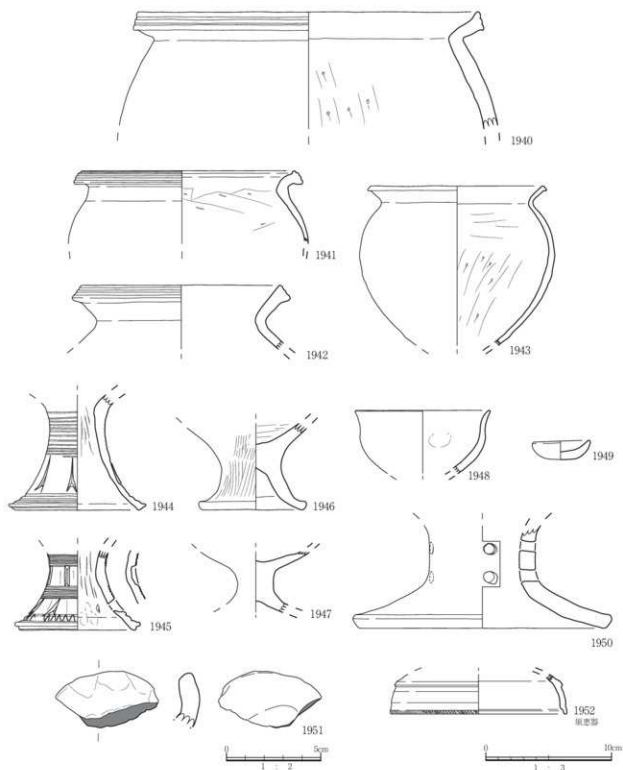


図522 SR29 出土遺物 13

23 SR30 (4区:SR9)

(1)遺構(図523～536) 南西から北東へ伸びる流路である。南岸については溝や自然流路など複数遺構の重複により不明瞭となっている。長軸方向はN-29°-Eである。全長が残存で149.2m、幅は34～47.2m程度、最大深度は2.86mである。埋土は、上位では砂質土と黒色系粘質土の互層堆積、全体的に灰色～褐色系砂質土または砂が主体となる。断面c-c'の1～18層は基本層序I層、12～37層は基本層序IVc層、38～225層は基本層序IVd層(図4)におおむね該当すると考えられる。大別層位ごとに掘り下げをおこなったが、現段階では、SR30との重複関係にあるSD053～060・065～067・069・088・089・091・097～104・106・113～118・126～145・161～164・173～176・180・181・186・194～197・206・207・210・211・214・216・248～254・258～270・272・282、SR01～SR08・10の検出層位は不明である。したがって、弥生時代～古代のいずれかの時期であるはずのこれらの溝、自然流路についてSR30との層位関係での時期決定は難しい。大規模な谷地形を形成しており、4区の浅谷1-Aの大部分を占める。流路最下層(219・221層下位層)にはSX19が設置される。断面d-d'の2～33層、断面b-b'の11～27層のように砂質土および砂層が一定量みられるうえ、粗砂や礫を含むことから、流水を伴う堆積を繰り返した堆積となっている。その堆積過程や検出上面では本報告書および『報告書4』で報告する溝や自然流路など複数の遺構が検出されている。上流(南西側)に位置するSR11やSR25、SR27をはじめとする複数の溝や流路が流れ込むことでSR30が形成された可能性が高いが、堰SX24付近を境に下流(北東側)ではそれぞれの流路が不明瞭となり、溝や流路の新旧関係を含め詳細は不明である。

流路東端部の北岸周辺では水田の可能性のあるSN1が検出されている。

出土した木質遺物は自然木が多数を占めている。堆積途中に形成された遺構出土として報告されたほか板、杭?、割材?、樹皮が出土した(『報告書1』参照)。

(2)遺物(図537～543)

土器 1953～1973は弥生土器壺である。1953は大型で口縁部内面に突帯を有する。1954はさらに大きなサイズで、欠損するものの口縁部内面には突帯の痕跡が残る。口縁部内面には刺突文が連続する。1955の頸胴部境には突帯、1956の頸部下位には4条の沈線文が認められる。1958は胴部片で、外面に斜線文が認められる。1959は短頸広口壺、1960～1963・1965は広口壺で、いずれも口縁部外面には明瞭な凹線文が巡る。1962の頸部には4条の縦位の線が刻まれる。1964は外に直線的に伸びる口縁部をもち、頸胴部境には瓦痕文突帯が付されている。1970は胴部上位から頸胴部境にかけて竹管文がL字状に配されている。1972は複合口縁壺の口縁部片と推測される。縦位の刻目文突帯と鋸歯文で文様が構成される。1974の頸胴部境には刺突文がみられる。1974～1984は弥生土器甕である。1985は土師器甕で口縁部は若干内側に突出する。1986～1993は弥生土器高杯、1994・1995は土師器高杯である。1996～2005は弥生土器鉢である。2006・2007は弥生土器蓋で、2007の天井部端には対向する位置に円形孔が穿たれている。2008は黒色土器皿で、内面にはミガキが密におこなわれている。紡錘車2009の片面には多数の刺突文が認められる。2010は球状に近い形状の土製品で、一部に指オサエの痕跡が残る。

石器 2011は淡緑色を呈する緑色片岩製石庖丁で、A面右側に欠損する。剥離痕が多く認めら

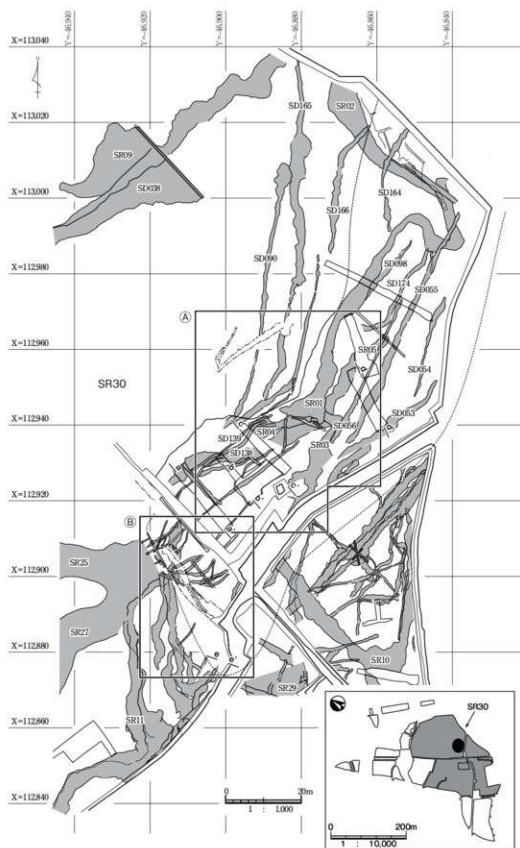
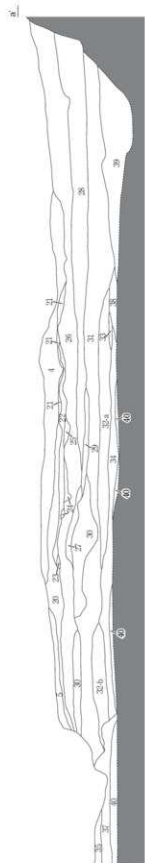
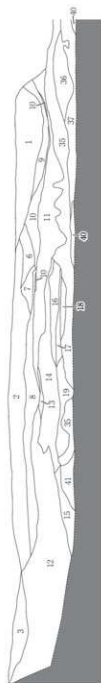


図523 SR30 平面

27.4m

8



0.0' 博士	地名	色	質	土質	粘性	粒度	緊密度	備考
1	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
2	区	灰	質	砂	中	シルト	疎	
3	区	灰	質	砂	中	シルト	疎	
4	区	灰	質	砂	中	シルト	疎	
5	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
6	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
7	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
8	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
9	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
10	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
11	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
12	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
13	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
14	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
15	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
16	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
17	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
18	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
19	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
20	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
21	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
22	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
23	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
24	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
25	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
26	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
27	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
28	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
29	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
30	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
31	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
32	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
33	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
34	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
35	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
36	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
37	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
38	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
39	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	
40	区	灰	質	砂	弱	シルト	疎	

図524 SR30 断面 1



図525 SR30 断面 2

地名	c-c'遺土	土質	形状	数量	備考
101	オキリ	黒	中	中	中
102	オキリ	黒	中	中	中
103	オキリ	黒	中	中	中
104	オキリ	黒	中	中	中
105	オキリ	黒	中	中	中
106	オキリ	黒	中	中	中
107	黒	黒	中	中	中
108	黒	黒	中	中	中
109	黒	黒	中	中	中
110	黒	黒	中	中	中
111	オキリ	黒	中	中	中
112	オキリ	黒	中	中	中
113	オキリ	黒	中	中	中
114	オキリ	黒	中	中	中
115	オキリ	黒	中	中	中
116	オキリ	黒	中	中	中
117	黒	黒	中	中	中
118	黒	黒	中	中	中
119	黒	黒	中	中	中
120	黒	黒	中	中	中
121	黒	黒	中	中	中
122	黒	黒	中	中	中
123	黒	黒	中	中	中
124	黒	黒	中	中	中
125	黒	黒	中	中	中
126	黒	黒	中	中	中
127	黒	黒	中	中	中
128	黒	黒	中	中	中
129	黒	黒	中	中	中
130	オキリ	黒	中	中	中
131	オキリ	黒	中	中	中
132	オキリ	黒	中	中	中
133	オキリ	黒	中	中	中
134	オキリ	黒	中	中	中
135	オキリ	黒	中	中	中
136	オキリ	黒	中	中	中
137	オキリ	黒	中	中	中
138	オキリ	黒	中	中	中
139	オキリ	黒	中	中	中
140	オキリ	黒	中	中	中
141	オキリ	黒	中	中	中
142	オキリ	黒	中	中	中
143	オキリ	黒	中	中	中
144	オキリ	黒	中	中	中
145	オキリ	黒	中	中	中
146	オキリ	黒	中	中	中
147	オキリ	黒	中	中	中
148	オキリ	黒	中	中	中
149	オキリ	黒	中	中	中
150	オキリ	黒	中	中	中

図527 SR30 断面 4

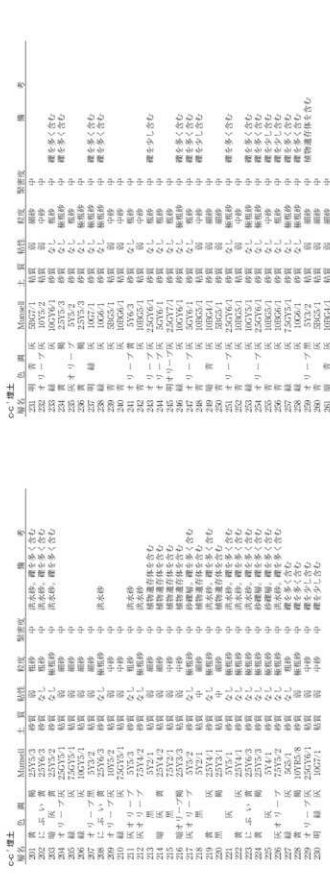


图 528 SR30 断面 5

